



# Kainan East Rotary

DISTRICT 266 CLUB WEEKLY BULLETIN

事務所 海南省日方1294 海南商工会議所内 TEL (07348) 2-4363  
例会日 毎週月曜日 12時30分 ♣オ1例会のみ 18時30分 於海南商工会議所 4F  
会長 田岡啓一 幹事 奥村匡敏 会報委員長 柳川和一郎 委員 島村佳郎 松田易己

オ286回 例会 昭和56年5月25日(月) 午後12時30分 於 海南商工会議所

1. 開 会 司 会 西岡豊副会長
2. ロータリーソング 「奉仕の理想」
3. ビジター紹介 上野嘉一様 (和歌山東南R.C.) 夏目健蔵様 (海南R.C.)
4. ゲスト紹介 和歌山県議会議員 山本一様
5. 出席率報告 73.33% 会員総数 45名 出席者数 33名  
前回修正出席率 93.33%
6. 会長スピーチ 西岡豊副会長
  - ・5月24日(日) 当クラブと和歌山西クラブとの合同ゴルフコンペは、生憎の雨となり御苦勞でしたが、多数の参加有難う御座居ました。
  - ・去る3月米国G.S.E. チーム来日の際、地区担当として当クラブの労苦に対して、ガバナーより感謝の礼状が参って居ります。
  - ・このあと山本県議の卓話となっております。
7. 幹事報告 奥村匡敏幹事
  - ・メイキャップ 5月13日 Kwan Tong R.C. 角谷勝司君  
5月15日 香港R.C. 深谷政男君
  - ・例会日時変更のお知らせ  
大阪南西R.C. 6月15日(月) → 6月13日(土) 17:00より於京都嵐山「錦」
  - ・新旧合同理事会 6月4日(木)  
新旧役員合同の理事会を予定します 新旧全員の参集をお願いします。
8. 委員会報告
  - ・次年度会務奉仕委員会 岸義朗委員長  
次期会務奉仕に属す、各委員長さんへ赤い印刷物をお配りしていますが、熟読の上クラブ活動計画書を来る6月20日の地区協議会迄、間に合わすよう御提出願います。
  - ・次年度社会奉仕委員会平尾寧章委員長次年度委員会について協議致したいので松田君・島村君・藤原君お残り下さい。
  - ・次年度国際奉仕委員会 上田文亮委員長  
西岡・隅田・角谷・土岐の諸氏、地区協議会用の提出物について、協議致したいので残留方御願ひ致します。
9. 卓 話 和歌山県議会議員 山本一様  
県政の中で叫ばれている和歌山県の経済沈下と云う状態に、最重点をおいてお話

TAKE TIME TO SERVE 時間を捧げよう 奉仕のために

致したいと思います。和歌山県は、日本の盲腸即ち、吾国に於て有っても無くても関係のない部分だとさえ云われています。この様な状態におかれた県民は、生産意欲は勿論のこと、生き甲斐さえも無くしてしまうのではないのでしょうか。私共県政人は、今日程県民の進むべき道を決定する事の必要性を感じさせられる時はありません。世界中で46年のオイルショック以後でも、西ドイツと並んで日本のみが、経済的好調を保って来ては居りますが、吾が和歌山県に於ては、全国水準のはるか下位にしか位置しておらず、全くオイルショックにも関係なく、経済活力が皆無と云う判断を下されるようになっていきます。ここで和歌山県の経済浮上策は、工業を導入する事と、交通の再整備なしでは、到底既死回生の道はないと考えられます。工業と交通は、車の両輪でこれの導入整備こそ今、和歌山に課せられた大題目と云えるでしょう。

工業立県こそ和歌山の課題であります。当然公害も又附随する大問題だとも考えます。工業と公害、これ又車の両輪であります。県民の繁栄は当然公害に関係して来ると考えます。が、この両輪が如何に噛み合うか、調和出来るかが最大問題になって参ります。国の内外を問わず、公害のある所には人は集まるとも云われています。公害を恐れず調和を取りつつ、工業立県を推進して行くべきではなからうか。名誉県民の松下幸之助氏の和歌山県に対する助言に「和歌山県を独立国と考え、山を削り、海を埋め、土地を作り、工業の基地とし荒らした山や海の環境作りに努力しなさい」と、又「現況を脱しない限り、和歌山への松下系統の工場施設は進出したくとも出来ない」と、本県の経済力は、全国でも最下位に近く工鉱業生産指数は、和歌山を100として全国平均は150と云う指数になっています。又人口増加率も、1.4%と長崎県の1.2%に次いで最下位から二番目、人口動態にしても人自然増6%と若い人が落ちついて、生活するだけの経済基盤のない事をよく物語っていると云えましょう。収入にしても全国平均133万円の所、本県では109万4,000円となって全国的に85%30位で、昭和30年頃10位であったのが、年々低下の道を辿って来ました。このような状態にある事を卒直に認め、現段階から脱脚すべく県民も県政も財界も協力一致して、既死回生をはからねばならない時にあると考えております。この地盤沈下を如何にすべきかは、前にも申しました通り、工業誘置と交通網の整備が焦眉の急務となって来ます。才2阪和、近畿自動車道、湾岸道路の延長、泉南交通網体系等企業の受け皿づくりに政治勢力の結集が今を描いて必要な時は他にありません。「企業こそ経済を支える力、昭和56年は活力元年にしたい」と仮谷知事は申されています。神は人間をつくり、人間は都市を創り、又同時に神は人間に天然資源と自然空間を与えてくれました。吾ら人間は、これを賢明に利用し開発する事を許されていると思います。吾々和歌山県人は、人力を尽して今最大限有効に神の啓示に着手すべきではないでしょうか。ここで本県経済浮上の一策として「関西国際空港」に期待を寄せられ、新空港の建設が、関西財界に与える波及効果の多大な事を説明されました。

## ニコニコ・米山・BOX

広野 旭君 和歌山西・海南東両R.C.ゴルフコンペにてプレイなしで優勝  
谷井昭三君 “ BB賞(但しクジによる)  
山野裕正君 大成高校総会に於て会長に任ぜられました  
河尻鳩親君 御夫人岳父死去に際して、会員各位の厚情に対しての礼  
奥村匡敏君 和歌山洋家具団地協同組合役員拝命

次回案内 才287回例会 昭和56年6月1日(月)午後6時30分 於海南商工会議所  
会員卓話 深谷政男君 会員並に奥様誕生祝結婚記念日祝等